



武石ともしび博物館 アイスキャンドル祭

地域自治センターだより

平成22年/2010
3.16 | No.18 |



1年間健康でみんなが笑顔
ですごせますように。そんな
願いが込められたどんど焼き
が1月14日、武石保育園で行
われました。

火の勢いが弱くなつてか
ら、まゆ玉を焼きました。こ
のまゆ玉は、ほうれん草やに
んじんのしぼり汁など自然の
ものだけを使って色をつけ、
野菜やお米の花をかたどった
園児の手作りです。

武石保育園 どんど焼き 今年の健康を願って



「武石丼」発売まであとわずか!

『地元食材を使って武石の特産品を作りたい!』という熱い
思いが詰まった武石丼。2月には試食販売を行い、アンケー
ト結果をもとにアレンジが加えられました。地域内の飲食店
などで4月から発売する予定で、準備も順調です。

お楽しみに♪



子檀嶺神社

平成22年 4月11日

御柱大祭を見に行こう！

武石地域最大の行事である子檀嶺神社の御柱大祭が4月11日に開催されます。おねり行列の中心となる奴とその配役が決定し、練習も盛んに行われています。このお祭りの歴史に改めてふれ、当日は地域の皆さんの力ですばらしいものにしませう！そして、多くの来場者と一緒に楽しみましよう！

いつ頃から始まったの？

正確にいつから始まったものなのかは定かではありませんが、1782年におねり行列が行われた記録が残されていることから、228年以上の歴史があります。昔は小沢根・余里・藪合の皆さんのお祭りでしたが、現在は武石地域全住民によって行われています。

どんなお祭りなの？

山から聖なる神霊を里に迎えた古代信仰に由来するもので、『神の降臨を仰ぐため神聖なる木を神のよりつかれる柱として建立する』と伝えられています。神様が天から降りてくるときにのり移るためのご神木になる木を選び、山から出し里に迎え、柱として建てるまでが御柱祭です。



今回の御柱
樹 齢 85年
幹まわり 約2m
長さ 約14m
重 さ 約3t

ご神木を選ぶ 御柱注連張式 御柱大祭前年の春

山から出す 斧入式 御柱大祭前年の秋

里へ迎える 山出祭 御柱大祭前年の秋

柱として建てる 本曳き 御柱大祭前年の秋
建御柱 寅年・申年の4月

おねり行列ってなに？

御柱祭を盛りあげ、住民も楽しむために始まったといわれています。100万石の大名行列をまねたともいわれる勇壮なおねり行列ですが、180年ほど前に農民による行列が禁止され、武石のおねり行列も禁止されました。この危機を救ったのが、武石出身で江戸に武芸の修行に出ている小松典膳という人です。上田藩主の前で長刀振り披露したところ、その演技がとてすばらしかつたので褒美としておねり行列の復活が認められました。でも、「大名行列と区別すること」という条件がつけられ『おかめ』と『ひよつこ』が行列に加わるようになってきました。高下駄をはいた天狗の姿が見えると小学生の御簾・半弓・小長刀が続き、中長刀、振長刀の迫力ある掛け声が響きわたります。そして、ゆつたりと息のあった動作で金紋御先箱、御槍、楯熊が続きと大鳥毛の登場です。重さ約30キロの大鳥毛を担ぎ、投げては舞う姿は圧巻です。立傘、台傘が行列を引き締め、笛や太鼓などが続く総勢300人を超える大行列です。歌舞伎役者のような化粧をした、伝統的な衣装に身を固めた勇壮な行列は、見る人すべてを惹きつけます。

神社では何をやるの？

おねり行列が子檀嶺神社の参道に到着するころ「さあさあみなさんおねがいだ〜」の掛け声とともに信広寺前から本曳きが始まります。御柱が転がらないように梃子係が舵をとり、時間をかけて神社まで引っ張ります。神社には御柱を建てるため、深さ1メートルほどの穴を掘り、鹿の角のようにひのきの丸太2本に縄を結んだものを柱木のまたに使って支え、引っ張りあげます。御柱が垂直に建立されると、歓声と拍手に包まれます。

当日に向け猛特訓！

御柱大祭当日に向け、おねりの練習が行われています。行列の中心的な役割になる「奴」の皆さんは、奴経験を師匠に連日厳しい練習を行っています。子どもたちも学校が終わった後やお休みの日に小長刀や笛太鼓の練習をしています。当日は、すばらしいおねり行列になりそうです。



奴とその配役が決定

〈敬称略〉



中長刀

柿蔭洋一 (市之瀬)



振長刀

廣川 高 (小沢根)



金紋御先箱

中村 修 (堀之内)



高田 聡 (鳥屋)



御 槍

清住勇次 (余里)



宮下 覚 (藪合)



楮 熊

坂口茂寿 (唐沢)



内田智宏 (七ヶ)



大鳥毛

西森隆至 (中島)



小林郁夫 (沖)



立傘

野村 勝 (七ヶ)



台傘

滝澤浩一 (下本入)



当日の予定

- 8:00 読み立て
- 9:00 おねり行列開始
- 11:00 子檀嶺神社参道着
- 11:30 御柱曳き出し
- 12:30 神社境内でおねり
- 15:00 御柱建立

周辺の道路は交通規制が実施されます。係員の指示に従ってください。

祝 成人式



1月10日、武石公民館で成人式が行われ、武石地域では56名が成人を迎えました。久々に会う恩師や友人との会話もはずみ、笑顔の絶えない成人式となりました。

新成人を代表して藤田大介さんから「明るく、希望にあふれる世の中を作る義務を背負っているのが新成人である」という力強い誓いの言葉がありました。

今後も武石地域の大きな力となって活躍してくれることでしょう。



歌・舞・奏の祭典

第17回 ともしびの里芸能祭

武石地域で活動している団体やサークルなどが集う「ともしびの里芸能祭」が2月21日に武石公民館で開催されました。今年は19組の出演者が、日ごろの練習の成果を披露しました。

会場内に響き渡る歌声や演奏、息のあった踊りの数々。武石地域の素晴らしい芸能にふれられたひと時でした。



8 月にわたり協議を深めてきた武石地域全域公園化構想を「提言」にまとめ1月の新自治会長会に提案、了承を得たことから、武石地域の総意として地域協議会で意見書にまとめ、市長に提出することになりました。

第10回 1月26日開催

●武石全域公園化構想の提案について

意見書の表記や、内容について協議し原案にまとめました。

第11回 2月23日開催

●意見書「武石地域全域公園化構想について」の提出について

前回の協議をもとに作成した意見書を協議、最終決定しました。

●基金の用途について

地域振興基金、持ち寄り分基金の使い道について協議しました。

市長へ意見書を提出

2月26日、武石地域協議会を代表し桜井敏昭会長が、上田市役所で市長に意見書を提出しました。



武石地域全域公園化の提言（抜粋）

1 武石地域全体で取り組む事項

ア 武石地域全域を花で一杯にしていきます。

イ 農村風景に調和した生垣など美しい街路景観、住景観作りを進めます。

ウ 環境を保全し、ごみのポイ捨てや不法投棄、焼却をしない、させないという意識を高めます。

2 各自治会や地区ごとに取り組む事項

ア 自治会ごと、地域の特性にあった草花や花木を選定し植栽を進めます。

イ 各地域に隠れている地域が誇る自然や歴史ある箇所、名勝の整備・保全を進めます。

ウ 遊休荒地の解消や農地を保全したり里山の整備を推進し、美しい農村風景の保存と創出を進めます。

3 市との協働

事業は、地域住民や自治会、地域づくり団体、企業等が主体的に取り組むとともに、わがまち魅力アップ応援事業や地域振興基金の活用、既存公園の整備などに上田市の協力・支援を得て進めます。

上田市商工会発足へ

武石村商工会と丸子町商工会が合併

1月27日、武石村商工会館で武石村商工会臨時総会が開催されました。

今回の臨時総会は、武石村商工会と丸子町商工会が対等合併するために、会員の承認や必要な決議を求めするため開催されました。

新生上田市発足後「市内商工団体のあり方検討会議」を発足し様々な協議を繰り返してきましたが、現時点で旧市町村ごとに設置されている4つの商工団体を1つに統合することは困難という結果になりました。

しかし、武石村商工会と丸子町商工会では「改革は必要」として、歴史・文化・経済における強いつながりがある両商工会での合併を推進することになり、平成20年に合併研究委員会を設置して本格的に研究、検討してきました。

臨時総会で清住章雄商工会長から「武石村商工会が今後も単独で活動していくためには、会費の増額など会員の負担増加が心配され、合併により財政の健全化や活動の活性化が見込める」などと合併を選択した経緯について説明がありました。

質疑のあと採決となり、両商工会の合併が承認されました。

合併後の名称は「上田市商工会」。武石地域は「上田市商工会武石支部」として平成22年4月1日からスタートします。



鬼はそと! 福はうち!

武石保育園 豆まき

2月3日、武石保育園に鬼がやってきました。真っ暗になったホールに鬼が入ってくると先生にしがみついて泣き出す子も。



鬼は「給食を残す子はいるか?」「遊びに入れてくれない子はだれだ?」と、もったいないことや意地悪なことに怒り、子どもたちに向かっていきます。「そんな子いないよ!」と園児たちが豆をまくと、鬼たちは逃げていきました。

鬼退治をしてホッとしていた園児たちの前に、福の神が現れ春を運んでくれました。



さっきまで泣いていた子も笑顔を取り戻し、うれしそうでした。

『和』のイルミネーション

武石ともしび博物館 アイスクャンドル祭

11回目の開催となったアイスクャンドル祭が2月6日に武石ともしび博物館で開催され、氷灯ろうの幻想的な光を見ようと多くの家族連れが訪れました。



主催者である灯りを楽しむ会の皆さんは、毎年様々な企画で来場者を楽しませてくれています。今年は、会場内の3箇所ですくイズが出され、全て正解した方には記念品がプレゼントされました。



ハート型の灯ろうの前には願い事を書く短冊が用意され、家族でお願いをしている姿も見られました。

雪の舞う寒い日でしたが、恒例の無料で振舞われたとん汁は「あったまるなあ」と大好評でした。

伝統文化で学ぶ

依田窪南部中学校 百人一首大会



2月8日、依田窪南部中学校1、2年生が体育館に集まり、百人一首大会を開催しました。学年別に各クラス2、3人ずつが入り交じったグループを作り、

取った枚数を競い合うクラス対抗戦で個人賞も用意されました。「札が読まれる前は手をひぎの上に」というルールのもと始まると、札を取れたうれしさからカメラに向かって笑顔でピース。



寒い中でしたが、半そで姿や腕まくりで札を見つめる生徒も活躍していました。

武石小学校 ふるさとカルタ大会



昭和63年度の児童がふるさと学習として作った「ふるさとカルタ」。現在も引き継がれ、今年もこのカルタを使ったカルタ大会が1月22日に開催されました。

各学年が入り交じった20班が各教室に分かれ、学年別に対戦します。班の合計枚数で勝負です。

校内放送を使って札が読まれると「がんばれー!」と同じ班の子を応援です。

初めて参加した1年生も「こんなにとれたよ」と嬉しそうに話してくれました。

